

令和 6 年度 市民参加と協働のまちづくりの推進にかかる 取組結果について（令和 6 年 10 月 22 日時点）

※実施予定の事業については黄色で表記しています

1 積極的な「話し合い」の場づくり（市民参加の機会の提供など）

(1) 市民懇談会 【令和 6 年度：4 件】

ア 「守山の子どものたちの読書について考えよう」・・・別紙 1

＜日 時＞ 令和 6 年 6 月 29 日（土）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

＜場 所＞ 守山市立図書館 つながる森 多目的室

＜担当課＞ 図書館

＜目 的＞ 「守山市子ども読書活動推進計画 第 4 次計画」の策定にあたり、本が好きと言える市民であふれ、より広く深く読書に関わることができるまちの実現を目指しているが、同計画策定のための資料とすべく市民のご意見をお聞かせいただく。

＜結 果＞ ビブリオバトルやトーク会などのイベント開催や、図書カードの配布、スマートフォン・アプリの活用など様々な分野からご意見をいただいた。10 歳代～70 歳代の幅広い年代からご参加いただいたことから貴重な機会となった。

＜参加者＞ 36 名

＜ファシリテーター＞ 15 名（龍大 7 名、市民 8 名）

イ 「未来の守山を考える」・・・別紙 2

＜日 時＞ 令和 6 年 9 月 29 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

＜場 所＞ もりやまエコパーク交流拠点施設 環境学習室

＜担当課＞ 企画政策課

＜目 的＞ 「守山市長期ビジョン 2035」の策定にあたり、市民目線で 10 年後の守山市の姿を考え、目指すべき将来像や分野別の方向性を検討する材料とするため

＜結 果＞ 市民懇談会の参加者を中心としたワークショップを今後 2 回開催予定（11 月および 1 月、定員 30 名）。ワークショップで長期ビジョン策定に向けた議論を深めるにあたって、今回出た意見をたたき台とする計画であったが、市の魅力や課題について幅広く意見をいただくことができた。

＜参加者＞ 33 名

＜ファシリテーター＞ 13 名（龍大 6 名、市民 7 名）

ウ 「未来の守山を考える」・・・別紙 2

＜日 時＞ 令和 6 年 10 月 6 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

〈場 所〉 守山市コミュニティ防災センター 研修室

〈担当課〉 企画政策課

〈参加者〉 42 名

〈ファシリテーター〉 16 名（龍大 8 名、市民 8 名）

※イおよびウは、同一内容で日時および会場を変更して開催

エ 「自分とこのまちの未来について考えてみよう ♪」

〈日 時〉 令和 6 年 11 月 10 日（日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで

〈場 所〉 守山市役所 2 階 防災会議室

〈担当課〉 健康福祉政策課

〈目 的〉 市民の誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすためにはどうしたらいいのかについて、無作為抽出による市民の意見を広く収集し、「第 5 期守山市地域福祉計画」策定の検討材料とするため

〈申込者〉 42 名（定員超過のため申込締切）

(2) もりやま未来ミーティング 【令和 6 年度：0 件】

令和 6 年度は開催予定なし

(3) 市民ワークショップ

ア 「パワーアップしたい機能を考えよう」

〈日 時〉 令和 6 年 6 月 22 日（土）

〈場 所〉 守山市民ホール 学習室 1

〈担当課〉 社会教育・文化振興課

〈目 的〉 守山市民ホール大規模改修の基本的な考え方を基に、改修後に必要な機能や規模を協議する

〈参加者〉 17 名

イ 「改修後にやってみたい、やってほしい事業を考えよう」

〈日 時〉 令和 6 年 7 月 27 日（土）

〈場 所〉 守山市民ホール 学習室 1

〈担当課〉 社会教育・文化振興課

〈目 的〉 第 1 回で検討した機能を踏まえ、改修後の守山市民ホールについてより具体的に想像して話し合う

〈参加者〉 18 名

(4) パブリックコメントについて

	件名および担当課	募集期間
1	守山駅東口再整備基本計画 【都市計画・交通政策課】	令和7年 1月10日～31日
2	守山市民ホール大規模改修基本計画 【社会教育・文化振興課】	
3	子ども・若者応援プラン 2025 【こども政策課】	
4	守山市子ども読書活動推進計画 第4次計画 【図書館】	

2 協働のまちづくりの推進（市民活動支援の継続）

(1) 市民提案型まちづくり助成事業・・・別紙3

ア チャレンジ応援事業【上限3万円、助成率10/10】

団体名	概要	交付額
エイブラハム林間学校	遊休畑地の利活用による農業体験を通して子ども達と高齢者を繋ぐことで、健康で持続可能なコミュニティ形成を促進する	30,000円
立入農活クラブ	地域の田畑が住宅へ変わっていく中で、わずかに残った田畑を地域や学校で活用し、交流の場として活用する	30,000円
ど真ん中に愛がある。 SHIGA から日本の教育を 面白くする会	県内で特色ある授業（オモロー）に取り組んでいる先生を講師に迎え、保護者と先生が教育について対話する機会を提供する	30,000円
第四次募集（9月30日～11月22日）…申請受付中		

イ 地域貢献事業【上限15万円、助成率10/10】

団体名	概要	交付額
地域サポートプラス 実行委員会	地域の空き家の利活用について、地域住民によるタウンミーティングを開催し、アクションプランを策定する	150,000円
おうみ子ども・若者未来 のタネプロジェクト	不登校児童やひきこもりの若者への支援等を取材して冊子化し、必要としておられる方に届ける	150,000円
もりやまこども日本語 学習クラブ	外国にルーツを持つ子どもたちに向けた日本語の学習会や、日本に親しみを持ってもらえるイベントを開催。	150,000円
守山市立図書館友の会	図書館について学び、活用を促す市民向けの講座を開催	150,000円
こどもの居場所とあ そび場 みんなのひ みつきち	代表者の敷地において、地域の子どもたちが自由に遊び、思いのままに過ごせるスペースを作る	150,000円

Bochibochisloth	アート活動を通じた親子の触れ合い事業の開催	150,000 円
しが木育協議会	木のおもちゃを使った子育てサロンや、端材・間伐材を使ったおもちゃ作り体験会などを開催	150,000 円
Ludder Concerts	あまが池プラザにて県内出身の若手音楽家によるコンサートを開催（年 7 回）	150,000 円
さづかわ祭り教室	ケンケト祭りの拠点となる「宿」の整備および、親子対象とした祭り教室の開催	150,000 円
おむすびイベント企画	保護犬の認知向上のためのイベントを開催し、新たな飼い主につなぐことで殺処分等を減らす	150,000 円

ウ 自立事業化前提型事業【上限 50 万円、助成率 10/10】

・申請団体：0 団体

(2) 豊かな市民活動のまち応援事業（企画政策課所管）

	団体名等	活動目的	寄付額 (R5.4～12)
令和 4 年度認定団体			
1	子育て助け合い ワーカーズたすき星	誰もが暮らしやすい地域社会づくりの一環として、小さな子どもを持つ親が、笑顔で生活できるように、子育ての悩みや不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。	1,792,000 円 (70 件)
2	認定 NPO 法人 びわこ豊穰の郷	ゲンジボタルが乱舞する故郷、琵琶湖とシジミに親しむ湖辺の再現を目指す。	3,631,000 円 (140 件)
3	オムスビの会	誰も取り残さない社会を目指し、託児やプレ保育教室、子育てイベント、親子食堂を通して、子どもたちの非認知能力を育み、ママと子どもが主役になれる拠点をつくる。	729,000 円 (28 件)
令和 5 年度認定団体			
1	赤野井歴史の会	赤野井の歴史を研究し、その研究結果を守山市民や地元の人に伝えることを通して、魅力あるまち・地域づくりの一助とする。	733,000 円 (28 件)
2	なかよしマルシェ	市内で親子体験型マルシェを開催するなど、街を元気にみんなが笑顔になれるイベントを企画。	491,000 円 (16 件)
3	一般社団法人 フードバンクびわ湖	食品ロスの活用および社会のセーフティネット構築、地域の絆づくりを目的に、ひとり親家庭・困窮者への支援、子ども食堂の運営・サポートを行う。	1,420,000 円 (57 件)

令和 6 年度認定団体			
1	ママパスポート もりやま	主に乳幼児を対象とした子育て世代と地域を繋ぐことをミッションに市内で様々なイベントを開催し、居場所づくりに努める。「ママパスポートもりやま」を発行。	寄付 募集前
2	しが縁結び プロジェクト	若者のコミュニティ形成を促し、まちの活性化につなげる。気軽に楽しく参加できる婚活の場を提供し、結婚に対する機運を高める。	寄付 募集前
3	NORA	子育て世代を主な対象とした収穫体験事業や、より広い世代に地域の食資源を PR する地産地消カフェ【NORA カフェ】を定期的で開催。誰もが来店しやすいカフェという場所で、生産者と市民を繋ぐ交流会を実施。	寄付 募集前
4	特定非営利活動法人 四つ葉のクローバー	社会的用語の必要な若者たちの自立支援を目的に活動。経済的に困窮する若者たちに就労援助や一時的に住宅支援を行い、社会に貢献できる人材として世に送り出す。	寄付 募集前

※指名なし・不明：295,000 円（4 件）は、令和 5 年 4 月～9 月の間に発生したものであるため、令和 4 年度認定団体の 3 団体で按分

(3) 「市民参加と協働のまちづくりフォーラム」の開催

ア 第 1 回：「世代を超えた共創～地域の未来を築く市民のつながり～」

＜日 時＞ 令和 6 年 5 月 25 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

＜会 場＞ 守山市民ホール 1 階 小ホール

＜内 容＞ 第 1 部 講演「ここで、ともに、無事に生きる

— 多世代で共に育む地域の未来 —」

上田 洋平 氏（滋賀県立大学地域共生センター特任講師）

第 2 部 活動・取組報告

「絵本セラピスト滋賀」、「まほうの食堂」

＜参加数＞ 44 名

＜その他＞ 社会教育・文化振興課の「まちづくりリーダー研修会」と合同開催

イ 第 2 回：「自分を知ろう！小さな一歩で見つかる楽しみ！」

＜日 時＞ 令和 6 年 11 月 16 日（土）

＜会 場＞ 市民交流センター 多目的ホールおよび研修室 1・2

＜内 容＞ ワークショップ（研修室 1・2）

「新しい自分を知り、新しいチャレンジのきっかけを作るワークショップ」

遠藤 恵子さん（しが NPO センター 理事）

活動・取組報告（多目的ホール）

市民提案型まちづくり支援事業採択団体の活動発表

・「ママパスポートもりやま」 絵本のひろば

・「守山音楽連盟」 ピアニストによるピアノ連弾

＜その他＞ 講演会ではなく、参加型のワークショップ形式とすることで、ご自身の活動内容の整理や他団体との交流等を図るなど、より中間支援的な要素に重点を置く。市民活動フェスタ内で実施。

(4) ファシリテーター養成講座

ア 職員向けファシリテーター養成講座

＜日 時＞ 令和6年8月5日（金）

＜場 所＞ 守山市民交流センター サロンルーム

＜講 師＞ 谷口 知弘 氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

＜受講者数＞ 40名（午前の部 23名、午後の部 17名）

イ 市民向けファシリテーター養成講座

＜日 時＞ 令和7年2月8日（土）午前10時から正午まで

＜場 所＞ 守山市民交流センター サロンルーム

＜講 師＞ 谷口 知弘 氏（福知山公立大学 地域経営学部 教授）

＜そ の 他＞ 当初は8月31日に開催予定も台風接近に伴い延期

ウ ファシリテーター養成講座 ホワイトボードミーティングとは？（市民・職員合同）

＜日 時＞ 令和6年9月13日（金）午後2時から午後4時まで

＜場 所＞ 守山市民交流センター サロンルーム

＜講 師＞ 西川 実佐子 氏（しがNPOセンター 事務局長）

＜受講者数＞ 21名（職員16名、市民5名）

(5) 市民活動情報の集約・発信について

ア 市民活動手引書「もり・まっち」：令和6年8月発行、初版300部

イ 市民活動団体マッチングリスト：令和6年11月発行、初版250部

(6) さんさんまちサポセミナーの開催について・・・別紙4

	日時およびテーマ	受講者数
1	7月13日（土）10：00～11：30 「活動を始める、続けるための講座」 「仲間づくりと資金」活動のために大切な事」 しがNPOセンター 理事 遠藤 恵子 氏	5名
2	8月3日（土）10：00～11：30 「新しい団体運営の形～巻き込む力を団体力に変える～」 一般社団法人 ママパスポートコミュニティ 代表理事 廣瀬 香織 氏	5名
3	2月8日（土）10：00～12：00 「ファシリテーター養成講座」 福知山公立大学 地域経営学部 教授 谷口 知弘 氏	8/31 延期分

4	9月13日（金）14：00～16：00 「ファシリテーター養成講座 ホワイトボードミーティングとは？」 特定認定非営利活動法人しが NPO センター 事務局長 西川 実佐子 氏	21 名 (職員含)
5	11月2日（土）10：00～11：30 「市民活動にチラシは必須！ 目に留まる・印象に残るチラシデザインの作り方！」 しがとせかい株式会社 代表 中野 龍馬 氏	
6	12月21日（土）10：00～11：30 「助成金だけに頼らない！ 市民活動団体のための資金集め～ファンドレイジング～」 日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー ^{いぶき} 膽吹 憲吾 氏	
7	1月18日（土）10：00～11：30 「可能性は無限大！SNSを活用した 団体のイメージ戦略（ブランディング）手法！」 市民協働課職員（福阪コーディネーター）	
8	2月22日（土）10：00～12：00 「知る、繋がる！未来が広がる交流会」 しが NPO センター 理事 遠藤 恵子 氏	

(7) 守山市市民提案型まちづくり支援事業の見直し・・・別紙5

令和6年度末に検証期限を迎える同事業の見直しについて、現制度となった令和4年度以降の採択団体に対して、アンケートを実施（回答件数18件）。採択団体の意見、遠藤アドバイザーの意見、他市町の制度などを取り入れつつ、守山市のニーズにあった制度へ見直しを行う。

(8) 市内企業および事業所等への情報提供・・・別紙6

令和4年度から令和6年度までの市民提案型まちづくり支援事業の採択団体の情報を守山商工会議所の常議員会で提供。企業等と市民活動団体の連携や交流が生まれることを目的に実施。

ア 日時

令和6年9月10日（火）

イ 情報提供団体

令和4年度：3団体、令和5年度：6団体、令和6年度：4団体 計13団体

ウ 連携予定

(1)Ludder Conserts（令和6年度採択団体）

- ・団体概要：県内出身の若手音楽家によるコンサートの開催
- ・依頼内容：守山駅前イルミネーション点灯式での演奏依頼（11月）

(9) 市民活動フェスタの開催について・・・別紙7

ア 開催日時

令和6年11月16日(土)

イ 主な内容

活動展示、ステージ発表、体験コーナー、キッチンカーなど

ウ その他

高齢化が進んでいる利用団体に代わり、これまでの市民提案型まちづくり支援事業の採択団体にも出店を依頼するなど内容を一部見直した

3 中間支援組織の構築に向けた取組

昨年度に受けた「中間支援組織あり方研究会」からの提言を基に、持続可能な協働のまちづくりの推進に向けて、将来的な中間支援組織構築のため、今年度においては以下の取組を行っている。

(1) 市民活動活性化アドバイザーについて

市民活動団体への助言および中間支援機能強化に向けたノウハウの蓄積等のため。アドバイザーは遠藤 恵子氏（認定特定非営利活動法人しが NPO センター 理事）。

	主な内容
4月	・ 守山市民交流センター施設案内、守山市の協働推進事業の説明 ・ 市内市民活動団体の確認および視察・面談団体の選定など
5月	・ 助成金採択団体の面談（Bochibochisloth、おうみ子ども・若者未来のタネプロジェクト、若者自立支援ボランティア group 居場所の会レリーフ、たすき星） ・ 市内施設訪問（市立図書館、マグネッツ、あまが池プラザ）
6月	・ 助成金採択団体の面談（みんなのひみつきち） ・ 市内施設訪問（うの家） ・ 守山市市民提案型まちづくり支援事業公開プレゼンテーションへの出席
7月	・ 助成金採択団体の面談（もりやま子ども日本語学習クラブ、守山市立図書館友の会） ・ 市外視察（まちづくりネット東近江） ・ さんさんまちサポセミナー第一回 講師
8月	・ 助成金採択団体の視察（Bochibochisloth） ・ 市内施設訪問（速野会館）
9月	・ 市外視察（甲賀市まちづくり活動センター まる一む） ・ 助成金採択団体の視察（しが木育協議会） ・ さんさんまちサポセミナー第八回 打合せ ・ 市民参加と協働のまちづくりフォーラム 打合せ

※上記以外にも、担当コーディネーターへの指導やアドバイス等も適宜実施いただいている。

(2) 拠点機能の改善

ア 施設の管理運営について

市民活動スペース「交流室」、「サロンルーム」、「ミーティング室」について、市内で活動する市民活動団体により多く利用いただけるよう、活用事例等の紹介など、更なる周知に努める。引き続き施設の適宜・適切な修繕等に取り組んでいく。

- ・まちづくり推進会議や中間支援組織あり方研究会等で外から見てどういった施設か分かりづらいとのご意見をいただいたことを受けて、道行く方々からも分かるようロビーの窓に当センターの機能を明示するシートを貼りつけた。・・・**別紙 8**

- ・広報もりやま（令和 6 年 10 月 15 日号）に特集記事を掲載・・・**別紙 9**
モリヤマジュニアリポーターが市民交流センターおよび市民活動について取材された様子が掲載。昨年度も同様に広報に特集を組んだが、今回は子ども目線の記事であり、子育て世代などへの波及効果に期待。

4 市民アンケートの実施

(1) 「10 年後の守山市を考えるアンケート」(企画政策課)

- ・調査対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民
- ・実施期間：令和 6 年 7 月 26 日（金）～令和 6 年 8 月 13 日（火）
- ・調査項目：41 問
- ・回答数：紙 346 件 + W E B 251 件 = 597 件（令和元年度 553 件）
- ・回答率：29.9%【597／2,000】（令和元年度 27.7%）
- ・その他：W E B 回答者にはインセンティブとして Quo カード PAY100 円分を付与

(2) 「男女共同参画に関する市民意識調査」(人権政策課)

- ・調査対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民
- ・実施期間：令和 6 年 7 月 1 日（月）～令和 6 年 7 月 22 日（月）
- ・調査項目：27 問
- ・回答数：紙 275 件 + W E B 175 件 = 450 件（令和元年度 552 件）
- ・回答率：22.5%【450／2,000】（令和元年度 27.6%）
- ・その他：W E B 回答者には Quo カード PAY100 円分を付与

(3) 「人権・同和問題に関する市民意識調査」(人権政策課)

- ・調査対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民
- ・実施期間：令和 6 年 7 月 1 日（月）～令和 6 年 7 月 22 日（月）
- ・調査項目：22 問
- ・回答数：紙 272 件 + W E B 151 件 = 423 件（令和元年度 552 件）
- ・回答率：21.2%【423／2,000】（令和元年度 27.6%）
- ・その他：W E B 回答者には Quo カード PAY100 円分を付与

(4) 守山市民ホール リニューアルに向けたアンケート（社会教育・文化振興課）

- ・ 調査対象者：市民ホールの事業への参加者への配布および、
7 公民館、市立図書館、市立北部図書館の来館者への配布
- ・ 実施期間：令和 6 年 8 月 6 日（火）～令和 6 年 8 月 18 日（日）
- ・ 調査項目：11 問（年齢、性別の 2 問含む）
- ・ 回答数：紙 256 件 + W E B 3 件 = 259 件

(5) 住みやすさ指標アンケート（市民協働課） . . . **別紙 10**

- ・ 調査対象者：住民基本台帳から無作為に抽出した 18 歳以上の市民
- ・ 実施期間：令和 6 年 8 月 30 日（金）～令和 6 年 9 月 30 日（月）
- ・ 調査項目：令和 3 年度と同様の 61 問
- ・ 回答数：紙 197 件 + W E B 164 件 = 361 件
(令和 3 年度 紙 702 件 + W E B 215 件 = 917 件)
- ・ 回答率：18.0%【361／2,000】（令和 3 年度 45.9%）
- ・ その他：W E B 回答者には Quo カード PAY100 円分を付与
市民懇談会「未来の守山を考える（担当課：企画政策課）」の案内文に
同封して実施（市民懇談会の対象者は 79 歳以下のため、80 歳以上には
アンケートのみを別途郵送）